

なかがわ 議会だより

No **111**

2015.2

▶発行/中川町議会 編集/議会広報特別委員会



1月7日 無病息災を願って～児童センター
(撮影にご協力いただきありがとうございました)

主な 内容

- 年頭のご挨拶
- 第5回 臨時会
- 第4回 定例会〔一般質問 2氏〕
- 平成25年度決算審査特別委員会
- 議会日誌 ●編集後記

年頭のご挨拶

中川町議会議長 佐藤 輝雄



新年あけまして、おめでとうございます。
今年の年明けは例年になく穏やかな良い天候にも恵まれ、町民の皆様にはお揃いで平成27年の輝かしい新春をご健勝にて迎えられましたことと存じ、心からお慶び申し上げます。

また、日頃から議会の諸活動に對しまして深いご理解を頂いておりますことに、感謝を申し上げる次第であります。

さて、昨年の年末に行われた総選挙の結果、自公の連立与党が圧勝し第二次安倍内閣の誕生となりました。アベノミクスによる経済対策の波及効果について、都市部はともかく地方ではその恩恵を感じられない状況であります。政府においては、喫緊の大きな課題であります地方活性化への政策に期待するものであります。

中川町においては、平成25年に閉校した旧中川商業高等学校を「生涯学習センター」として改修設置し、また、懸案でありました認知症対応のグループホームの開設、天塩中川駅舎の改築などの大型ハード事業がありました。議会と致しまして今後、完成した施設の有効活用や運営等についての諸課題につきまして、常任委員会等を通じて

て取り組んでまいりたいと考えております。
人口減少社会に對する政策について、政府は「国と地方の協議の場」で、積極的に取り組む自治体には手厚い支援をするとしており、27年度中に「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定を地方自治体に求めてきております。今後、地方自治体の総合戦略の策定には、その内容が問われることになることから市町村は独自の特色あるものを提案しなければ、採択はかなり難しいとされており、提案の内容により自治体間において格差の生ずることが懸念されております。
議会としても、国は詳しい内容を示していないことから行政と情報を共有しながら戦略策定にあたり、内容を精査し議論を深めていく必要があると考えております。今年は戦後70年を迎えた節目の年であり、また、統一地方選挙の年でもあります。与えられた任期中においては議会人として、その役割をしっかりと果たしてまいり所存であります。町民の皆様にはこの平成27年がご健勝で希望に満ちた明るい良い年でありありますことを心からご祈念申し上げ年頭のご挨拶と致します。

あけましておめでとうございます



小川 鉄 吉



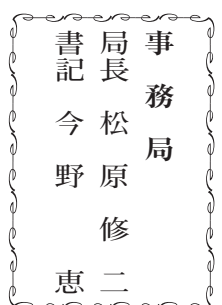
坂 尻 栄 治



鎌 塚 一 成



副議長 佐藤 正



事務局
局長 松原 修二
書記 今野 恵



菊 地 広 幸



熊 谷 健 一



渡 部 俊 彦

第五回臨時会

平成26年11月21日招集

平成二十六年第五回臨時会
は十一月二十一日招集され、
会期を一日と決し、議案三件、
認定六件を決議し、閉会しま
した。

議案審議結果

【認定】

▼平成二十五年決算審査特
別委員会委員長報告

■事件名

- ・平成二十五年中川町一般
会計歳入歳出決算認定
- ・平成二十五年中川町国民
健康保険特別会計歳入歳出決
算認定

- ・平成二十五年中川町介護
保険特別会計歳入歳出決算認
定

- ・平成二十五年中川町後期
高齢者医療特別会計歳入歳出
決算認定

- ・平成二十五年簡易水道事
業特別会計歳入歳出決算認定
- ・平成二十五年農業集落排
水事業特別会計歳入歳出決算
認定

【原案認定】



中川町グループホーム「ひだまり」居間

【予算など】
▼損害賠償の額を定めること
について

【原案可決】

■相手方：札幌市中央区北一
条西四丁目 東日本電信電話
株式会社北海道支店

■損害賠償額：六二、〇五八
円

▼中川町グループホームの施
設に係る指定管理者の指定

【原案可決】

■指定管理者：社会福祉法人
中川町社会福祉協議会

■指定の期間：平成二十六年
十二月二十五日～平成三十一年
三月三十一日まで



町道排雪作業風景

▼平成二十六年中川町一般
会計予算補正

■歳入歳出総額に、それぞれ
三五、〇二三千円を追加し、
予算総額をそれぞれ四、五六
九、七二七千円とする

【原案可決】

主な補正内容は高齢者世帯
等住宅除雪費助成及び冬期生
活支援助成費、町道除雪委託
料、平成二十六年農業用施
設災害復旧工事費などの追加

上川管内町村議会議員研修会

10月28日(水)鷹栖町において上川管内町村議会議員研修会が開催され、次の2氏による講演を受け、研修してまいりました。



講演1 「政局展望」

東京新聞・中京新聞論説副主幹
ジャーナリスト

長谷川 幸 洋 氏



講演2 「地域の雇用と産業創生」

慶応義塾大学商学部教授
日本創生会議メンバー

樋口 美 雄 氏

◆第4回定例会◆

平成26年第4回定例会は12月17日招集され、会期を1日と決し、2議員の一般質問、同意1件、諮問1件、議案12件、意見書1件、会議規則3件を決議し、閉会しました。



第4回定例会の様子

議案審議結果

【同意】

▼中川町固定資産評価審査委員会委員の選任

宮脇 政義 氏（再任）

【全員賛成により原案同意】

【諮問】

▼人権擁護委員候補者の推薦

遠藤由紀子 氏（再任）

【「適任である」との意見を付し答申】

【条例など】

▼損害賠償の和解について

【原案可決】

▼職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

【原案可決】

人事院が本年八月七日に平成二十六年度の給与を引き上げるよう勧告したことに伴い、本条例の一部を改正

▼中川町公民館条例の一部を改正する条例

【原案可決】

生涯学習センターに中央公民館を移し、住所を「中川三三六番地」から「中川二一七番地二」に改めることに伴い、

本条例の一部を改正

▼中川町生涯学習センター設置及び管理条例の一部を改正する条例

【原案可決】

研修施設区分の改正に伴い、本条例の一部を改正



中川町生涯学習センター「ちやいむ」図書室

▼中川町山村開発センター設置及び管理条例に関する条例の一部を改正する条例

【原案可決】

社会教育・生涯学習等を目的とした使用が生涯学習センターに移行されることにより、山村開発センターの目的の内容を改めることに伴い、本条例の一部を改正

▼農業用施設災害復旧事業の施行

【原案可決】

■事業名：団体営農業用施設災害復旧事業（排水路）

■地区名および地区番号：国府地区（四七一―二）

【予算】

▼平成二十六年中川町一般会計予算補正

■歳入歳出総額に、それぞれ一一七、七七九千円を追加し、予算総額をそれぞれ四、六八七、五〇六千円とする

【原案可決】

主な補正内容はグループホーム運営委託料、町有林除間伐事業費などの追加

▼平成二十六年中川町国民健康保険特別会計予算補正

■歳入歳出総額に、それぞれ八、二〇七千円を追加し、予算総額をそれぞれ二六一、八〇六千円とする

【原案可決】

主な補正内容は出産育児一時金、高額医療費拠出金などの追加

▼平成二十六年中川町介護保険特別会計予算補正

■保険事業勘定の歳入歳出総額に、それぞれ一四、四一六千円を追加し、予算総額をそれぞれ二〇七、五五一千円とし、サービス事業勘定の歳入歳出総額にそれぞれ一三千円を追加し、予算総額をそれぞれ八、五四三千円とする

【原案可決】

主な補正内容は居宅介護サービス給付費、地域密着型介護サービス等給付費及び施設介護サービス給付費などの追加

▼平成二十六年度中川町後期高齢者医療特別会計予算補正

■歳入歳出総額に、それぞれ五八〇千円を追加し、予算総額をそれぞれ三一、五六七千円とする

【原案可決】

主な補正内容は広域連合負担金・保険料及び保険基盤安定分などの追加

▼平成二十六年度中川町簡易水道事業特別会計予算補正

■歳入歳出総額に、それぞれ一、〇二〇千円を追加し、予算総額をそれぞれ一二〇、一四四千円とする

【原案可決】

主な補正内容は水道事業費電気使用料などの追加

▼平成二十六年度中川町農業集落排水事業特別会計予算補正

■歳入歳出総額に、それぞれ五四四千円を追加し、予算総額をそれぞれ八八、九八六千円とする

【原案可決】

主な補正内容は集落排水施設管理費修繕料及び電気使用料などの追加

【意見書】

▼年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書

■地方自治法第九十九条の規定に基づき衆参両院議長、内閣総理大臣及び関係各大臣に送付

※主要な要請事項は下欄に記載

【会議規則に伴うもの】

▼委員会調査期限延期要求（総務常任委員会）

■事件

福祉・医療機関の運営実態の現況と今後の展開について

・社会福祉協議会

・指定管理者制度の活用

■期限
平成二十七年第一回定例会まで
【決定】

▼委員会調査期限延期要求（経済常任委員会）

■事件

(1)木材流通整備事業の現況と今後の展開について
・中間土場の設置及び木材流通について

・薪産業の創出による木質バイオマス資源の有効活用について

・家具産業界等との連携による中川ブランドの確立について
(2)所管事務の現地調査について

■期限
平成二十七年第一回定例会まで
【決定】

▼閉会中の継続調査の申し出（議会運営委員会）

■事件

本会議の会期日程等議会の運営に関する事項について

■期限

平成二十七年第一回定例会まで

【継続調査決定】

年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書

公的年金は高齢者世帯収入の7割を占め、6割の高齢者世帯が年金収入だけで生活しています。また、特に高齢化率の高い都道府県では県民所得の17%前後、家計の最終消費支出の20%前後を占めているなど、年金は老後の生活保障の柱となっています。

そのような中で、政府は、成長戦略である「日本再興戦略（平成25年6月14日閣議決定）」などにおいて、年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）に対し、リスク性資産割合を高める方向での年金積立金の運用の見直しを求めています。年金積立金は、厚生年金保険法等の規定にもとづき、専ら被保険者の利益のために、長期的な観点から安全かつ確実な運用を堅持すべきものであり、日本経済への貢献が目的ではありません。まして、GPIFには保険料拠出者である被保険者の意思を反映できるガバナンス体制がなく、被保険者の意思確認がないまま、政府が一方的に見直しの方向性を示すことは問題であると言わざるを得ません。リスク性資産割合を高め、年金積立金が毀損した場合、結局は厚生労働大臣やGPIFが責任をとるわけではなく、被保険者・受給者が被害を被ることになります。

こうした現状に鑑み、本議会は政府に対し、下記の事項を強く要望します。

記

- ①年金積立金は、厚生年金保険法等の規定にもとづき、専ら被保険者の利益のために、長期的な観点から安全かつ確実な運用を堅持すること。
- ②これまで安全資産とされてきた国内債券中心の運用方法から、株式等のリスク性資産割合を高める方向での急激な変更は、国民の年金制度に対する信頼を損なう可能性があり、また、国民の財産である年金積立金を毀損しかねないため、行わないこと。
- ③PFIにおいて、保険料拠出者である労使をはじめとするステークホルダーが参画し、確実に意思反映できるガバナンス体制を構築すること。

以上、地方自治法第99条の規定にもとづき、意見書を提出します。

平成26年12月17日

内閣総理大臣 他3名 宛

北海道中川郡中川町議会議長 佐藤輝雄

問 主要政策の検証と課題について

答 公約の実現に 最大の努力をいたしたい

川口町政が様々な政策展開を計ってこられましたことに敬意を表します。

日本創生会議によると「2040まで全国1800ある自治体のうち896が消滅する可能性がある」と発表されています。最大の効果を上げ、マチづくりをしなければ生き残れないということは明白であります。この点について検証と課題について伺いします。

①中川町農業振興センター及び中川町自給飼料センターの運営と課題について

②各後継者対策の実態と課題について

③「100人雇用」の実態と課題について

川口町長

①業務内容は、町営牧場に関することから担い手対策、営農指導、各関係機関連携そして自給飼料生産・堆肥管理生



小川鉄吉 議員

産・コントラクター業務を行うこととなっております。運営につきましては協議会を設定し、具体的な課題については関係機関と生産者からなる企画会議で議論を頂き、効率的な運営に取り組んでいるところ です。

町営牧場の運営では、預託頭数が減少傾向の中で、維持監視における労務単価や生産資材費アップ等があり、今一層の経費節減策が求められております。

自給飼料センターにつきましては、平成25年度より農産物（デントコーン）作付けを開始し、売払いは3,235万円となっております。平成26年度産につきましては本年12月から売払いを開始しております。

本施設規模は、100haの作付け施設となっております。地域酪農家の利用拡大と作付面

積の確保により収支のバランスを図ることが課題であります。今後は農業振興センターの役割を担う人材確保が課題であり、関係機関との協議を進めているところです。

②農業後継者対策では農業経営者57戸（個人46戸、法人11戸）のうち、現段階での後継者有りが14戸で、後継者無しが32戸という状況にあります。さらに、商工業における商店数（小売・飲食・サービス業）42店舗のうち個人24店舗、法人18店舗で、個人経営店舗数は5店舗、法人で1店舗という状況にあります。

「中川町後継者育成支援推進協議会」を中心に農林商工の関係機関が一体となり、異業種交流や都市に暮らす同世代との出会いを求めた交流など積極的に取り組みを進めています。

また、「商工業担い手支援

条例」が商工業・観光業の後継者問題の解決へと結びつくことを期待しております。本町の商工業における支援策となる新条例制定に向けた必要性についても関係機関と協議を進める中で、今後の商工業振興や担い手対策の判断が求められております。

③私は、「元氣な高齢社会」、「元氣な産業経済」、「元氣な人づくり」の3つの元氣を取り戻すことを公約に掲げ、今まで取り組んでまいりました。雇用に関わる新たな施策について申し上げますと、

- ・ 農業振興センターの設置と自給飼料センターの整備運用
- ・ 高齢者福祉の増進に係る認知症対応型グループホームの整備
- ・ 高齢者タクシー料金助成事業の実施
- ・ 地域医療の充実強化に伴う、調剤薬局の誘致
- ・ 本町の特性に合った森林整備と活用事業の展開
- ・ 子育て支援に係る専門職員（幼児センター職員）の増員
- ・ 定住と起業の可能性を視野に入れた地域おこし協力隊の

任用
等々であります。

100人の数値には至っておりませんが、積極的に新たな施策を展開することで、複人数の新たな雇用が生まれたことをご理解頂きたいと存じます。

今後の課題としては、基幹産業である農林業の新しい価値観を広げ、引き続き多様な施策を展開することが雇用の拡大に繋がるものと認識しているところであります。

再質問

町長は1期4年、町政を担ってこられました。先に質問しました諸課題を克服する上で、来春の統一選挙に向けて、2期目の町政を担う覚悟をもたれているのか最後にお伺いいたします。

川口町長

過日、私自身の後援会の幹部の皆さま方とすることについても協議をさせていただきました。その結果来年の4月の統一選挙に向けて住民の皆さんの審判を仰ぐために再び出馬をさせていただく決意をしております。

問 政策公約の検証と
自己評価について

答 3つの元氣に向かって努力した

国の政策の重要項目として

デフレ脱却を掲げ、大きな課題がある中、経済、農業、福祉、エネルギー問題があり、特にT P P問題は先送りされているのが、実態ではないかと思えます。

こうした国の実態を見なが

ら、町長としての本町の地域おこし対策として、政策公約として4年間の集大成として、どのように公約を検証し、評価しているのか。町長が掲げた3つの元氣公約と住民に表明してきている訳でありますので、自己評価結果を示していただきたいと思いますので、次の4点について伺います。

- ① 主要産業の取り組み検証
- ② 経済対策の検証と評価
- ③ 福祉対策（特に弱者対策）の検証
- ④ 財源確保の展望を考えた政策の検証

川口町長

「元氣な産業経済」を重要な柱として、農林業振興を中心とする新たな雇用を創出するため、農業と林業の新たな価値観のもとで農商工連携に積極的に取り組んでまいりました。

林業につきましては、新たな森林法に基づいた「中川町森林整備計画」において、地域が一体となる「山づくり」を推進して来たところです。

国有林との整備協定や、北海道大学北方森林圏センターとの包括連携協定、北海道立林業試験場や地域企業との「産・学・官」連携を進め、地域資源価値の向上を目指してまいります。

また、新エネルギー対策として、木質バイオマス利活用に向けた供給可能量調査の成果を基に、本町として持続的に取り組むことができる薪産



佐藤 正 議員

業創出のシステムづくりを進め、森林業の可能性に重点を置いた取り組みを進めています。

商工業につきましては、町内経営者の担い手不足と地元消費の減少といった極めて厳しい状況が続いております。

ポイントカード事業、プレミアム商品券の販売につきましては、経済効果は極めて大きいものと認識しております。今後とも関係機関と十分協議をしながら支援をしたいと考えております。

次に③の「福祉対策（特に弱者対策）」の検証であります。弱者対策、一人暮らしの高齢者が年々増え、社会的弱者と言われている人達のような生活課題が浮き彫りとなり、その課題の解決に向けた取り組みに全力で取り組んでまいりました。

また、高齢化社会に伴う認

知症高齢者対策として、今年度グループホームを建設し年明けには供用開始の予定であり、高齢者の皆様が安心して生活できる環境を整えつつあります。

④の「財源確認と展望を考えた政策の検証」であります。が、ご承知のとおり本町のような小規模自治体に於ける財源は、予算の概ね5割程度が地方交付金等で賄われております。

本年度におきましては、グループホーム、道立高校施設の利活用による生涯学習センターの整備などに10億円程度の起債を充当しましたが、決算見込みで基金と公債費の状況は、基金の総額が約27億円で、就任時に比べると3億円程度の増となる見込みであります。

一方、公債費は本年度末で約57億5千万円の残高となり、6億6千万円程度の増となります。財政の健全性は十分に保持されているものと認識しているところであります。

再質問

遊休地・荒廃地の対策はどのようにとられたのか。

川口町長

畑作振興、酪農振興、自給飼料生産の在り方も含め、地域ぐるみの農地を有効活用した生産意欲・生産エネルギーを高めるということ以外には遊休農地の解消する道はないと考えています。

再質問

社会的に弱者の対策について、4万・5万の年金者暮らしのお年寄りに対して、町長の考えは。

川口町長

高齢者の方が最近ふるさとを離れるというケースが多く発生しています。その理由は、医療の問題、交通弱者、雪の問題であります。この課題について、中川町では支援を続けてきましたが、限界がござります。法助、共助、自助この3つの力関係というものを、いかに定着させていくのかという事がこの課題であります。

平成25年度 一般会計 5特別会計 決算を認定

9月定例会で決算審査特別委員会（委員長 鎌塚 一成）が設置され、10月20日・21日の2日間にわたり審議し、すべての決算を認定しました。そのあらまは次のとおりです。

一般会計・特別会計

区 分	収入 済 額	支出 済 額	形式 収 支	実 質 収 支
一 般 会 計	4,609,284千円	4,393,655千円	215,629千円	198,480千円
国民健康保険事業	234,001千円	227,398千円	6,603千円	6,603千円
簡易水道事業	185,693千円	185,591千円	102千円	102千円
農業集落排水事業	78,838千円	78,809千円	29千円	29千円
介護保険(保険事業)	200,617千円	200,617千円	0千円	0千円
(サービス事業)	8,143千円	8,143千円	0千円	0千円
後期高齢者医療	27,419千円	27,419千円	0千円	0千円

※実質収支＝形式収支－翌年度に繰越すべき額

二十五年年度の事業が適正に執行されているか審査を行い、町当局から各事業の目的や効果について説明を求め、決算を認定しました。

主な質問事項

歳入全般

(一般会計・特別会計)

- ・町税の不納欠損について
- ・町税の収入未済額について
- ・町税の滞納処理のあり方について
- ・特別交付税について
- ・生産物売払収入について
- ・ふるさと寄付金について
- ・公営住宅使用料・車庫使用料の滞納について
- ・住宅使用料の保証人について
- ・幼児センター使用料の滞納について
- ・中川町農業振興センター運営費繰替金について
- ・国府地区道営ため池等整備事業発生材売払還付金について

総務課関係(歳出)

- ・移住体験住宅の維持管理に

ついて
中川村との友好交流について

地域おこし協力隊の効果について

職員住宅について

職員研修事業について

職員給与費について

住民課関係(歳出)

防犯灯のLED化について

敬老会の開催について

特養一心苑の改修工事について

グループホームの進捗状況について

冬期生活支援事業について

各種健診の未受診者への対応について

健康づくり事業入浴券の助成について

中川町立診療所・中川町立歯科診療所の指定管理について

旧佐久保育所について

後期高齢者医療について

産業振興課関係(歳出)

牧場運営事業について

農業振興センターの将来展望について

エゾシカ緊急捕獲事業につ

いて

農産物出荷箱作成助成につ

いて

雌雄判別精液購入支援事業

について

木質バイオマス利活用調査

事業について

草地土壌改良促進事業につ

いて

ポンピラアクアリズイング

の指定管理について

環境整備課関係(歳出)

通学路の横断歩道について

下水道のマンホール修理に

ついて

橋梁長寿命化補修工事につ

いて

町道の除雪について

道営農地整備事業について

排水機場の管理について

簡易水道事業・農業集落排水

事業の実態について

教育委員会関係(歳出)

旧佐久小学校の屋根改修に

ついて

パークゴルフ場について

世田谷交流事業について

カメラスケッチ

撮影にご協力いただき
ありがとうございました。

ながわの鼓動



1月9日 冬休みスキー教室



1月4日 中川町成人の日のつどい



1月11日 剣道少年団寒稽古



1月7日 中川消防出初式



1月11日 柔道少年団鏡開き



1月21日 中川町生涯学習センター
「ちやいむ」落成式

議 会 日 誌

十月

十四日 大空町議会産業建設文教常任委員会行政視察

十九日 中川町立中央小学校第四十一回学習発表会

〃 第十二回中川文化芸術祭

二十日 決算審査特別委員会（二十一日まで）

〃 第十四回議員全員協議会

二十三日 上川管内町村議会議長研修会【東神楽町】（二十三日まで）

二十四日 中川町遺族会戦没者慰霊法要

二十六日 サンプルダム本体工事着工記念祝賀会【下川町】

二十八日 上川管内町村議会議員研修会【鷹栖町】

十一月

一日 加藤北海道議会議長と上川管内町村議会議長との政策懇談会【旭川市】

八日 中川町交流プラザ「天塩中川駅」オープンセレモニー

九日 幼児センター発表会

〃 中川消防団模擬火災訓練

十日 第六回総務常任委員会

十一日 上川町村議会議長会臨時総会

十二月

十二日 第五十八回町村議会議長全国大会【東京都】

十三日 上川北部市町村議会議長会議長研修会【島根県・鳥取県】（十五日まで）

〃 経済常任委員会所管調査【旭川市・東川町】（十四日まで）

十九日 第十五回議員全員協議会

〃 第八回議会運営委員会

〃 田邊揮司良北部方面総監を囲む会（名寄市）

二十一日 第十六回議員全員協議会

〃 第五回臨時会

二十六日 第十七回議員全員協議会

〃 天塩川と共生する会平成二十六年定期総会【美深町】

二十九日 第五回臨時会

〃 自民党名寄ブロック支部要望会【名寄市】

四日 第十八回議員全員協議会

十日 第九回議会運営委員会

十六日 平成二十六年中川町表彰式

一月

十七日 第十九回議員全員協議会

〃 第四回定例会

二十日 Dive to Haskap

三十日 役場・議会仕事納め

四日 成人の日のつどい

七日 中川町グループホーム「ひだまり」内覧会

〃 中川消防出初式

九日 平成二十七年名寄駐屯地新年交礼会【名寄市】

十日 衆議院議員今津ひろし連合後援会新春の集い【旭川市】

十七日 北口ゆうこう道議と語る新春の集い【士別市】

十九日 旭川中川会平成二十七年新年交礼会【旭川市】

二十一日 中川町生涯学習センター「ちやいむ」落成式

〃 中川町自衛隊後援会定時総会

〃 平成二十六年中川町商工会新年交礼会並びに永年勤続優良従業員表彰式

二十八日 上川北部市町村議会議長会一月定例会【剣淵町】（二十九日まで）

編集後記

平成27年、新しい年を迎え、皆様方には新しい気持ちでお過ごしのことと思います。

昨年12月に入ってから全国で大雪となり、この影響で各地では災害・事故が発生しております。上空に12月には今までもなかった零下36度の寒気団が日本列島を覆っていることにより、日本海の水温が15度でこの50度近い温度差により、海水が異常に蒸発して雪雲になり、日本に流れ込んでいたために起こったとみられます。

昨年8月、中川町では大雨による影響で7箇所災害が発生しており、議会は災害復旧のための補正予算の承認を議決したところです。これらはやはり、異常気象によるものと思われま

す。

まだまだ厳冬の折、お身体をご自愛いただき、本年も町民皆様方にとって良い年になることを心から祈念いたします。（広）

議会広報特別委員会

委員長 鎌塚 一成
委員 菊地 広幸



道産 間伐材使用 この広報紙は道産間伐材を使用しています。